



「新しいふるさと」

4年前に埼玉から加茂谷に移住してきました。これまで年末は埼玉へ帰省していたのですが、おとしの12月に三男が生まれ、初めて徳島で新年を迎えました。産後で家事が思うようにできない私のため、母が



十八女町 和田あづささん

年末ギリギリになって、おせち料理の食材や大切なお重箱をそろえて持つて来てくれました。埼玉にいた頃は、母と一緒におせち料理を作るのが恒例だったので、久しぶりに母に甘えることのできるうれしい正月となりました。そして、母は大切にしていたお重箱を「あなたが使いたくない」と置いてきました。私もいつか子どもに譲り渡せる日が来るまで大切に使用したいと思います。

います。

話は変わりますが、昨年の11月に休校中の大井小学校を使って、音楽とマルシエのイベント「カモン加茂谷かもかもフェスタ」が行われました。加茂谷元氣なまちづくり会の皆さんの働きや地域住人の協力、移住者たちの新しい発想などをさまざまなことが相乗効果を発揮し、笑顔あふれる楽しいイベントになりました。

地域の連携がとれ、住人が協力し合つて自分たちの町をより良くしていこう

という熱い思いのある加茂谷はとても魅力的です。あらためて、自然も人も豊かなところだなあ、私たち家族にとつてのふるさととは、ここ加茂谷になっていくのだなあ、うれしく思います。そして、いつかはこの地域に母を呼び、共に暮らしていけたらいいなあと思つています。

次は、新野町の谷口ゆうこさんをお願いします。

市民文芸

短歌

阿南市短歌大会
文化祭大会 選

市長賞

森 歌子

秋の野の繁みに揺れる一輪の可憐な野菊が夕陽と遊ぶ

議長賞

森岡 圭子

ラムネ玉いかに入りしか弟と不思議分かちぬ夏空の下

教育長賞

水口 明美

相反す色深き秋プラチナに光る月抱く空の漆黒

互選賞

宮本久美子

トラクター使い終りし安堵感主婦に戻れず夕陽に染まる

互選賞

佐々木夫美

「幸せ」と母つぶやきし白桃の産毛が光る季めぐり来る

互選賞

西崎まき子

刈り終へて沁みじみ温き想ひあり田面をつつむ新薬の香に

入選

遠藤美千代

満面の笑みで花束しかと抱く一〇七歳の誕生日の母

中学生短歌のポスト入選歌

福井中学校

青木健太郎

福井川染めて沈みし太陽の雲の向こうの夕焼の色

宮浦 悠輔
秋空にさわやかな風吹きぬける雲ひとつない僕の心も

岨 大雅

移りゆく木の葉を見上げ歩き出す変わらなければと心に決めて

湯浅 明

澄み渡る秋空に映え緋の色にふんわりと咲く百日紅かな

新野中学校

笹田 采汐

君と居る二人の時間何故だろうこんな早く過ぎていくのは

中山 美歩

阿波踊り笛鐘太鼓踊り子の高鳴る鼓動徳島の夜

徳永 杏香

浴衣着て待つてる君の姿みて思わず足がかけ出していく

本木 輝

鮮やかなビー玉一つころがしのぞく向うは夢万華鏡

俳句

阿南市俳句
連合会 選

ワイパーを弱く動かす時雨かな

田村 英人

ナフタリン匂ふ法被の小六月

青木 慧

山深きコンサートに沸く柚子の里

加藤 和子
ゆうづつの檸檬の色をポストまで

谷中 紫扇

行き帰り抱っこをせがむ七五三赤トンボとまりなおして我を見る

張本 雅宣

売れ残り赤い鶏頭尚赤し

古川北斗星

山茶花の咲き初めたりし二三輪
ティーカップ両手で包む夜寒かな

藤本 弘子

避難訓練の勤労感謝の日

末岐 美子

川柳

阿南川柳会
高木旬笑 選

酔いしれて衣装も顔もまるで歌手

橋本 征介

一輪の花に安らぐ無人駅

西田 修身

無い袖を振った赤字をどう埋める

臣守 愛香

巡り会った人に感謝の喜寿迎え

佐藤つたえ

また明日と延ばして苦労太らせる